

導入事例

株式会社 竹内製作所 様

会議室で使用するノートパソコンの電源として充電ステーションを利用

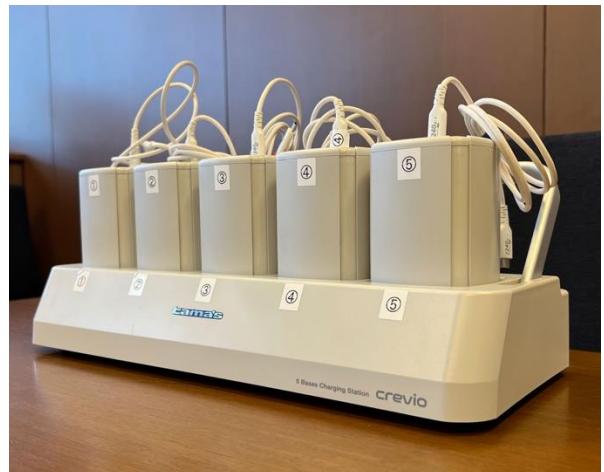
課題

- 会議や研修でノートパソコンのバッテリーが持たない
- 会議室の電源が遠い
- バッテリーの安全性の確保

解決策

充電ステーションの利用により、会議や研修でのノートパソコンのバッテリー問題を解決

導入写真



株式会社竹内製作所は、1963年設立。長野県埴科郡坂城町に本社を置く建設機械メーカー。ミニショベルや油圧ショベル、クローラーローダーなどの開発・製造・販売を手がけ、グローバルに事業を展開しています。連結従業員は約1,277名（2025年2月末）で、高品質な建機を世界市場に供給しています。充電ステーションを会議室に持ち運び、充電の不安がないスムーズな会議の進行の為に、積極的に活用されています。

導入製品

crevio.

TLP125LFP-5S



- 安全・長寿命。リン酸鉄バッテリーを使用
- 最大6年間。安心の保証サポート
- ノートパソコン・タブレット対応。高出力・大容量バッテリー（容量：18,000mAh）
- 置くだけでラクラク。「接点式」の充電ステーション

多摩電子工業株式会社

〒162-0067 東京都新宿区富久町8-21 (T&Tビル4F) <https://tamadenco.co.jp>

TEL : 03-3866-3930 受付時間 平日 9:00~17:30

Mail : tokuhan@tamadenco.co.jp

導入事例

株式会社 竹内製作所 様



株式会社竹内製作所 本社入口にて
左より順に多摩電子工業 法人営業部 吉田、リコージャパン株式会社 デジタルサービス営業本部 長野支社 篠原様、
株式会社竹内製作所 情報システム部 情報システム課 課長 岡村様、 情報システム部 情報システム課 南澤様

1.導入前の課題

会議開催時、会議資料を紙で配布するのではなく、参加者はノートパソコンで資料を確認しています。

会議室で参加者全員の電源確保が困難だったため、モバイルバッテリーの導入を検討しました。



2.導入理由

リコージャパン様からのご紹介がきっかけです。
多摩電子工業は、コンシューマー向けのモバイルバッテリーを作っていることや知名度があり、安心感があったため選びました。
また価格が部門長の決裁範囲内で購入できる価格帯だったため、
社内決裁や調整がスムーズに進みました。
特に反対意見はなく、便利だという意見が多いです。

3.導入後の効果

バッテリー残量を気にせずに会議ができるようになり、電源がない場所でも
気兼ねなく打ち合わせができるようになりました。

利用者は重さを課題としつつも、大容量かつ安全なリチウムイオンバッテリーを評価しています。

また営業部門でもお客様貸し出し用として利用しており、便利さから他部門
でも追加購入するほど好評です。

